

デジタル画像を用いたエデュテインメントシステムの製作プロジェクト

Development of Edu-tainment System Using Digital Images

富所 千晶
Chiaki Tomidokoro
藤澤 匠
Takumi Fujisawa

白戸 康大
Kodai Shirato
村山 幹朗
Mikio Murayama

大谷 尊
Takeru Ootani
小泉 有季
Yuki Koizumi

桜庭 翼
Tsubasa Sakuraba
成田 翔
Syo Narita

伊藤 晃
Akira Ito
稲場 憲祐
Kensuke Inaba

林 郁代
Ikuyo Hayashi
木幡 愛理
Eri Kihata

竹内 飛鳥
Asuka Takeuchi
原田 侑紀
Yuki Harada

齋藤 友作
Yusaku Saito
山田 翔
Syo Yamada

青木 遊冬
Yuto Aoki
松橋 智子
Tomoko Matsuhashi

増子 雄三
Yuzou Masuko
齋藤 正憲
Masanori Saito



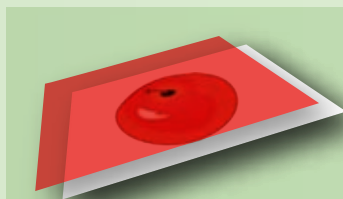
にじつくとは？

簡単にいうと虹を作るソフトウェアである。特徴的なのはたくさんのデジカメで撮影した画像から虹を作るというところで、虹の層の1層を40枚の画像で作り上げ、それを7つ組み合わせて虹を作り上げる。また1枚1枚の画像はデジカメで撮影した画像をそのまま使うのではなく「フィルタリング」という操作をして、虹の中に配置していく。ここでのにじつくの代表的な機能や使い方について紹介する。

にじつくの代表的な機能

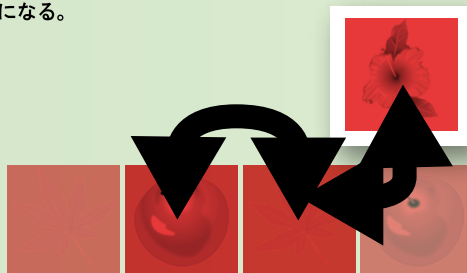
1. フィルタリング

撮ってきた画像のどの部分の中心に撮影したかを指示することで、撮ってきた写真全体にその部分の色をのせることができる。この機能をフィルタリングと呼ぶ。フィルタリングをすることによって児童が撮ってきた写真が何色かを示すことができ、虹の一部分として扱うことができるようになる。この操作を40回行って初めて虹の1層が出来上がる。



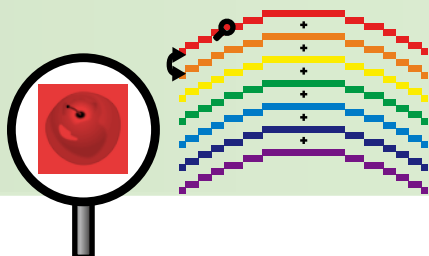
2. 並びかえ

フィルタリングした画像はフィルタリングした順に虹の形に並べられる。40枚以上フィルタリングすると、自由に虹の中の画像を並び替えたり入れ替えたりすることができるようになる。



3. 虹にする

上記の二つの機能では、1層の虹しかできない。そこで虹を合わせる機能を使うことによって、7層の虹が完成する。このときどのような順番で各層を並べるかを設定することができるので、オリジナルレインボーを作ることが可能。また、虹に使われている画像の1枚1枚を細かく見ることできる。



にじつくの使い方

「にじつく」では虹を1層ずつ作るので、7層の虹を作るためには最低7人の人がいなければならない。以下の行程を7人同時に行っていくことで虹を作り上げる。

①写真を撮る

自分の撮りたい1色を決めその色の写真をたくさん撮る。このとき写真の中央に被写体が来るようにする。



②フィルタリング

パソコンに写真を取り込み画像にフィルターをかける。フィルターをかけるときは撮影したときの中心点をマウスでクリックする。



③並びかえ

画像を40枚フィルタリングしたら、並び替え&入れ替え。同じような色で並べたり、色の濃淡で並べたり、自分だけの虹を作る。並び替えが完了したら、虹の1層の完成となる。もちろん納得がいくまでやり直しは可能。



④虹にする

7人それぞれが作り上げた1層ずつの虹を一つにする。7層の色の組み合わせや、各層の色合い等、この世に一つしかないオリジナルレインボーが生まれる。

